

平成18年度 松本筑摩高等学校(定時制課程夜間部)学校自己評価表

1 目 標

学校番号	81	長野県松本筑摩高等学校定時制課程夜間部
------	----	---------------------

夜間定時制教育目標	重点目標(中長期的目標)	総 合 評 価				
(夜間定時制教育目標) 1. 働きながら学べるというシステムを最大限生かし、就労・生活体験をもとに自己を見つめ、将来への確固とした展望をもたせる。 2. 集団に適応できる自律的訓練の場としての学校の機能を重視し、社会人としての基本となるルールや規範意識を身に付けさせる。 3. 地域社会に開かれた学校づくりに努めながら、生徒と教職員がともに研鑽し豊かな人間性を育む。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が安心して通学、学習できる環境の確立 生徒の置かれた状況をきめ細かく把握し、個々の相談に応じ支援する態勢の整備 学力と生活規律の基礎・基本の定着と単位修得率の向上 	・ 職員の生徒に向かう気持ちがひとつになって、それがすべての面にわたって目に見える成果をもたらしつつある。指導上の共通認識をより高めながら課題実現に努力しなければならない。				
	平成18年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
	<ul style="list-style-type: none"> 進級および卒業率の引き上げ 進学および就職などの進路保障のいっそうの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回前期卒業者をよりよい形で送り出すことができた。 				<ul style="list-style-type: none"> 進路保証へのとりくみをいっそう強めていく。

2 活動領域

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
教育活動	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 二期制(分割認定)の検証 学校設定科目の検討 教科指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 授業日数は確保できたか 単位修得者は増えたか 科目に生徒の実態や要望にかなっているか 生徒が積極的に取り組んだか 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いて授業にとりくむ雰囲気がよく定着しつつある。 				<ul style="list-style-type: none"> 欠席は減ったが遅刻はまだ多い。授業を大事にする意識づけをさらにつよめていく。
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ドリル学習の実施 総合的な学習の時間の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に定着したか 全職員が協力して指導したか 生徒が意欲的に取り組んだか 	<ul style="list-style-type: none"> 「総合」へのとりくみは向上している。 				<ul style="list-style-type: none"> 後期の「総合」にも意欲的にとりくませたい。
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 改訂生徒指導方針の検討 交通安全指導の実施 基本的生活習慣の定着 	<ul style="list-style-type: none"> 改訂指導方針に対する生徒・保護者の理解・協力が得られたか 通学方法を的確に把握し、安全指導に役立てたか 挨拶や上下履きの区別ができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導上の問題は減った。 一部を除き上下履きの区別もできるようになった。 				<ul style="list-style-type: none"> 事故は起きていないが交通安全指導を強めたい。
教育活動	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査の実施 進学、就職の情報提供 進路相談と進学、就職指導 	<ul style="list-style-type: none"> 年次にあった希望調査をしたか 適切な情報提供ができたか 個別に面接・作文・小論文指導など の対応ができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所見学など新しい試みができたが成果には直結しにくい。 				<ul style="list-style-type: none"> 進路(将来)への意識を高めるよう工夫に全職員でとりくみたい。
	クラス運営	<ul style="list-style-type: none"> 生徒別の履修登録指導 LHR計画の作成 保護者懇談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 単位習得の実態に即し、個別に対応できたか クラス・学年ごとの計画を立案したか 保護者との連携を密にしたか 	<ul style="list-style-type: none"> LHRの活用にはもうひと工夫が必要。 				<ul style="list-style-type: none"> 生徒ひとりひとりの意思疎通により努めながら、各々に適した指導を続けてゆく。
	生徒会等	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭発表展示の充実 諸行事運営方法の検討 部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が取り組んだか 執行部、委員会が機能したか 日常の練習・活動を効率的に行い、大会・文化祭で成果が発揮されたか 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭への参加はかつてなく積極的であった。 				<ul style="list-style-type: none"> 上級生のリーダーシップ発揮の場をもっとつくてゆくこと。
学校運営	研修	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修 	<ul style="list-style-type: none"> 「多部制・単位制」の研究が深まったか 	<ul style="list-style-type: none"> 研究、研修を積み重ねて、検討課題についての意識が深まった。 				<ul style="list-style-type: none"> 来年度からの姿を説明する場をより多く設けること。
	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌の適正化 書類、情報の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 分掌の合理的な運営ができたか 文書、データ等を効率よく管理できたか 	<ul style="list-style-type: none"> 少ない職員で一致して仕事にあたり、行事の運営にも効果をあげている。 				<ul style="list-style-type: none"> 文書データ管理はむだをなくし適正に活用してゆくことにいっそう努める。
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、中学校、地域への学校公開 学校評議員会との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人に公開でき、理解を深められたか 意見交換の場を設けられたか 	<ul style="list-style-type: none"> 多部制・単位制の来春スタートにあたり意識的にとりくんだ。学校評議員との意見交換の機会はまだない。 				<ul style="list-style-type: none"> 毎年の課題とされながら、学校評議員との接触がない。実現したい。

